

[吉敷ふれあい標語 2018] 声かけて 笑顔を広げる ふるさと吉敷



さわやかな風を感じて 山頂で元気いっぱい  
子ども会東鳳開ふれあいウォーク

## CONTENTS

【トピックス】  
総会・代議員会を合同で  
開催しました ..... 2

【シリーズ歴史❶】  
幕末と吉敷の青年たち(その二) ..... 5

今月の吉敷人 ..... 5  
インフォメーション ..... 6  
レポート ..... 7

イベントカレンダー ..... 8  
かけはし ..... 8

YOSHIKI  
DATA

【人口】14,771 (前月比 +88) 【世帯数】6,216 (前月比 +73)

平成30年5月1日現在





## 総会・代議員会を 合同で開催しました

5月12日(土)、地域づくり協議会総会、自治会代議員会、地区社会福祉協議会代議員会を合同で開催しました。

会議資料は、地域づくり協議会ウェブサイトに掲載するとともに、事務局に閲覧用を備え付けています。

### 新たに「吉敷まちづくり計画」を策定しました

吉敷地域のまちづくりを推進するため一括して策定している地域づくり協議会の「地域づくり計画」と、地区社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」が終了するに伴い、住民座談会や団体座談会などを開催し、計画の見直しに取り組み、この度の総会・代議員会において、今後五年間のまちづくり計画(計画期間 H30.5~H34)を策定しました。

### スローガンと活動目標

この計画では、住民の皆さんに地域活動に積極的に参加していただきため、スローガンとして「みんなで支え合う笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷」を設定しました。

また、活動目標を「地域振興」「地域福祉」「安心・安全」「環境づくり」「地域個性創出」と設定し、それそれに目指す将来像を定め、地域ぐるみで取り組んでいく」としています。

### 計画の普及・啓発

計画書は、町内会・自治会やまちづくり関係団体に配布するとともに、住民の皆さんにも、写真などを使って計画の内容を分かりやすく紹介する概要版を配布することとしています。

### 3団体が一体となって進める 吉敷の地域づくり・まちづくり

吉敷地域では、市が推進する「協働によるまちづくり」として、地域課題の解決に取り組むため「地域づくり協議会」を設置しています。

自治会と地区社会協議会へ財源を集め、3団体が連携しながら一体となった運営に努めています。

3団体はこのことを強みに、スローガンや活動目標のもと、様々な活動を展開していきます。

## 「吉敷自治会」

吉敷自治会は、16の町内会・自治会で構成され、地域住民どうしで助け合って住みよい地域を築いていく大切な役割を担い、活動している組織です。

地域住民の最も身近な隣近所のつながりを大切にしながら、「ミユニティ」の活性化を推進しています。会費として一世帯600円を集め、様々な活動に取り組んでいます。

## 自治会活動の推進 吉敷地域の振興のため

安心・安全な地域づくりを進めるため、各町内会・自治会単位の「自主防災組織の立ち上げ」を推進しています。

また、地域を守る市消防団吉敷分団の後援活動や市道の除草業務の受託、子ども会やスポーツなどの活動支援、広報活動の充実にも取り組んでいます。特に今年度は、水害などの自然災害に備え、水防無線を整備します。

## 平成30年度 事業計画・予算

(単位:円)

### 〈収入の部〉

項目	予算額	内訳
会費	2,880,000	会費600円×4,800戸
助成金	道路維持活動	715,000 市道除草業務委託
	その他	120,000 緑化募金奨励金
繰入金	620,000	水防に係る無線設備
諸収入	返戻金	1,148,413 前年度地域づくり協議会自主財源精算
	雑収入	944 利息ほか
繰越金	1,244,643	前年度自治会繰越金
合計	6,729,000	

(単位:円)

### 〈支出の部〉

項目	予算額	内訳
事業費	自治会活動費	635,000 町内会長会、子ども会活動支援ほか
	地域づくり活動費	480,000 地域づくり協議会へ
	広報活動費	170,000 広報委員会へ
	消防費	1,620,000 市消防団吉敷分団後援・水防無線設備
	地域防災費	371,000 地区防災会無線設備
	道路維持活動費	715,000 市道除草業務委託事業
負担金	1,036,000	地域づくり協議会へ(人件費・事務費)
事務費	370,000	コピー代、事務用品、切手代ほか
繰出金	600,000	財政調整積立金
雜費	50,000	慶弔費ほか
予備費	682,000	
合計	6,729,000	

## 「地域づくり協議会」

### 平成30年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算額	内訳
交付金	9,892,000	事業費へ4,840,000 人件費へ4,111,000 事務費へ941,000
補助金	30,000	ホタル増殖保護事業
総入金	4,799,000	自治会 (事業費480,000 人件費656,000 事務費380,000) 地区社会福祉協議会 (事業費100,000 人件費1,978,000 事務費140,000) 地域交流センター運営協議会 (人件費985,000 事務費80,000)
雑収入	100,000	吉敷さんば販売@500×200冊
合計	14,821,000	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算額	内訳
地域振興	150,000	④ふれあいネットワークほか
	623,000	④よしきフォトコンテスト
	300,000	人材発掘に向けた交流事業
	300,000	計画書印刷製本
地域福祉	350,000	大運動会、多世代交流グラウンドゴルフ大会
安心・安全	100,000	防災検討委員会へ
環境づくり	300,000	カーブミラー、交通安全施設の充実
	150,000	ホタル増殖・放流事業
地域個性創出	850,000	夏まつり、ふるさとまつり
	1,857,000	④文化、環境、交通・防犯、人権、青少協へ
	390,000	広報委員会へ
	60,000	母子保健推進協、食生活改善推進協へ
	20,000	旧出張所・公民館跡地活用検討
	100,000	④凌雲寺跡活用検討
協議会運営	1,341,000	事務費ほか
	7,930,000	事務局人件費(事務局長1名、事務局員4名)ほか
合計	14,821,000	

地域づくり協議会は、地域課題の解決のため、地域の皆さんや地域づくり関係団体とともに策定した第2次地域づくり計画「吉敷まちづくり計画」に基づき、各自治会・町内会をはじめ地域の団体が連携して、様々な事業や行事などに積極的に取り組んでいます。市の地域づくり交付金を主な財源として活動しています。

## よしきフォトコンテストの開催

ふれあいや交流による元気で住み良いまちづくりを進めるため、「笑顔あふれるふれあいのまち」をテーマとしたフォトコンテストを開催します。募集作品は、吉敷の美しい風景とその中でふれあう人々や地域のイベントなどで交流する人々の写真です。応募期間の四月から十一月には、誰もが気軽に参加・応募できる写真教室を同時開催することにしています。

## 文化によるまちづくりの推進

地域政策ガイドブック「吉敷さんば」を活用した地域政策イベントや地域学習講座を幅広く開催するとともに、吉敷の自然や歴史を活かしたウォーキングコースの設定を取り組みます。また、大内氏が海外貿易のために整備した吉敷ゆかりの「肥中街道」の整備や、他地域との連携、国の史跡である大内氏道跡「凌雲寺跡」の活用について調査検討を行うことにしています。

## 人材発掘に向けた交流事業の実施

これから地域づくりを担う人材を育成するため、「若者交流会」や「アクティブライジング交流会」を地域交流センターと共に開催します。「若者」が持つ自由な発想や経験を活用できる場づくりを進めるなど、地域の皆さんの自発的なふれあいや交流の取り組みを促進していきます。

### 文化による広域的な歴史学習講座



吉敷ゆかりの「肥中街道」の散策バスツアーでは、多くの参加者が大内文化に思いを馳せました。

### 地域ぐるみで策定した計画



地域課題解決のため、地域ぐるみで意見を出し合い、話し合って「吉敷まちづくり計画」を策定しました。

## 平成30年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

項目	予算額	内訳
住民会費	2,400,000	住民会費500円×4,800戸
市社協助成金	1,247,000	老人福祉行事
	1,699,860	地区社協活動費・事務費
	87,200	福祉員活動費
	2,124	見守り研修
市社協委託金	117,000	小地区見守り活動
	294,000	ふれあい型給食
	5,000	地域福祉活動計画実行委員会
共同募金配分金	951,395	地域福祉活動費
寄付金	300,000	香典返し、寄付金
繰入金	1,096,000	事務費(もみじ学級・げんきやかた・ふれあい給食)
繰越金ほか	1,168,421	前年度繰越金、利息、返戻金
合計	9,368,000	

〈支出の部〉

項目	予算額	内訳
住民活動費	1,296,880	敬老会行事等町内会助成
	170,000	広報委員会へ
	80,000	サロンの運営支援
	120,000	多世代交流や福祉関係団体交流の促進
	305,000	地域福祉活動の促進、小地区見守り活動の推進
厚生保護費	247,200	民生委員児童委員協議会、福祉員協議会助成
	100,000	地域づくり協議会へ(事業費)
	351,000	福祉団体助成
	314,000	ふれあい型給食会活動費
諸費	60,000	弔電、挨拶状他
負担金	2,501,000	市社協会費、市社協バス負担金
事務費	300,000	会議費、事務用品他
雑費	20,000	慶弔費
繰出金	2,118,000	地域づくり協議会へ(人件費、事務費)
	500,000	財政調整積立金
予備費	884,920	
合計	9,368,000	

## 「地区社会福祉協議会」

地区社協は、吉敷自治会をはじめ、民生委員児童委員協議会や福祉員協議会などの関係団体で構成され、様々な福祉活動を展開している団体です。

第3次地域福祉活動計画「吉敷まちづくり計画」に基づき、住民会費や共同募金などを主な財源として活動しています。

## 交流でつながりともに支え合う 地域福祉のしくみづくり

今年度もベタンク交流大会等の多世代交流事業を開催し、世代を超えた交流を促進していきます。

また、ふれあい・いきいきサロンなどを育て支援団体どうし、地域内活動団体どうしなど、福祉関係団体の交流を促進し、より一層地域のつながりを深めています。

## 仲間づくりや生きがいづくり 身近な地域で

吉敷地域では、地域の皆さんのが身近な場所で仲間づくりや生きがいづくりができるよう、全町内会へのサロンの設置を目指しています。

つどいの広場「楽楽楽」やサロンを支援していくとともに、放課後児童クラブや高齢者生きがいセンターを運営・管理しています。

## みんなで「見守り」 安心して暮らせる地域づくり

現在、高齢者等が安心して暮らしきるために、見守り訪問活動を、町内会長・自治会長・民生委員・福祉員が中心となつたグループにより協力して行っています。

また、ふれあい給食会では、月1回、見守りが必要な高齢者へ手作りのお弁当を届けています。

### 高齢者生きがいセンター「げんきやかた」 放課後児童クラブ「もみじ学級」



指定管理者として運営にあたっています。社会福祉の増進を図るために施設ですので、積極的にご活用ください。



指定管理者として、就労等により放課後保護者による保育ができないお子さんをお預かりしています。

## 「幕末と吉敷の青年たち（その二）」

良城隊の活躍

「蛤御門の変」は、責任者として三家老を切腹させ謝罪したので一応収まつたが、幕府はさらに藩主父子の蟄居や領土の削減を要求してきた。しかし長州藩がこれを拒否したため、長州藩に向けて進軍を開始、慶長二年（一八六六）四方面から攻めてきた。これを「四方の役」という。

これより先、吉敷毛利家では、幕府との戦いに備えるため、吉敷隊解散で他の諸隊に加わっていた脱退者を帰村させ、新しい隊を編成し、「良城隊」と名付けた。呼び方は同じ「よしき隊」であるが、先の「吉敷隊」が敗北したので、縁起を担ぐ意味もあって「良城」にしたのであろう。



幕末の戦死者等を記る良城神社

良城隊は、総司令官の大田報助以下二三六名で編成された。

同年七月、出陣の命があり、大竹、大野口方面で戦闘、大激戦の末、和議が成立した。大島口、石州口、小倉口とも長州藩が勝利し、徳川幕府の体制は崩れ、「王政復古」の世になつた。

しかし、旧幕府や東北の諸藩が激しく敵対し、朝廷が勤王諸藩にこれへの討伐を命じたので、長州藩も出陣することになった。

この頃、良城隊の一部は、京都地方の警備をしていたが、他藩とともに東北地方に出陣した。

まず、茨城・福島に進出し、相馬藩を降伏させ、続いて仙台藩を破り、会津藩を平定した。

勝利した良城隊は、神戸から船で三田尻に着き、明治二年（一八六九）正月に吉敷に凱旋した。これを「戊辰の役」という。

同年六月、版籍奉還があり、県内の各諸隊は解散し、良城隊も解散した。隊員の一部は朝廷の近衛兵となつたが、多くは新しい進路に向かっていった。

（三坂圭治編「吉敷村史」ほか）

### よしきびと 吉敷人

今月の

ひらど たけお  
**平戸 武郎さん (50)**

環境づくり推進協議会 委員

No. 034



大学を卒業後、最初の赴任地が山口県であった。大手ハウスメーカーの営業マンとして、主に県東部の商業施設開発を手がけながら県内を9回も転居した後、独立開業。平成22年に吉敷の住民となる。

子どもが良城小に通っていたが、PTA活動には距離を置いていた。そんな中、親しく付き合っていた職場の先輩夫妻が、なんと良城小PTA役員に自分を推薦。そこから良城小・鴻南中で各2年間、PTA執行部を務める。鴻南中おやじの会にも顔を出し、その成りゆきで環境づくり推進協議会にも参加。地域にどっぷりとつなることになる。

「子どもの見守りや美しい環境づくりには、地域の大きな支えがあり、学ぶことが多くあった。」と言う。現在は草刈隊にも入隊。「草刈り技術は先輩方の足元にも及びません。」とハニカム笑顔には今後の活躍を予感させる。（広報委員：齊藤）

昭和42年、長崎県長崎市生まれ。上東在住。妻、娘、息子と暮らす。宅地建物取引業「ひらど事務所」代表。長崎名物ちゃんぽんのスープは、必ず長崎から取り寄せるのがこだわり。

### よしきびと 吉敷人

今月の

あおやま なみこ  
**青山 尚子さん (34)**

山口市鴻南地域包括支援センター

No. 032



鴻南地域包括支援センターに勤務している保健師の青山です。吉敷地域を担当しており、日々、皆さんのお困りごとなど、問題解決のために走り回っています！見かけたらお気軽にお声かけくださいね！

美祢市美東町出身。佐賀在住。夫、1女、1男の4人暮らし。

### よしきびと 吉敷人

今月の

まつもと  
**松本 ゆいちゃん (11ヶ月)**

赤ちゃん

No. 033



久しぶりの赤ちゃんに、家族みんなが毎日メロメロに癒されています。抱っこするのも、お風呂に入れるのも、離乳食を食べさせるのも家族で競い合うほど…。これから成長が楽しみです♪

栄文さん、ふみさんの次女。長男、長女、次男の4兄妹。上東在住。



レポート

## 大晴天で大盛況 人の交流楽しいな♪

## 地域の安心・安全のため 訓練で万全の備えを

## 吉敷の伝統 みんなで挑戦 鳳凰の頂を目指して！

つなぐ平和への思い  
慰靈の心を次世代へ

4月14日（土）、「吉敷地区戦没者慰靈祭」が挙行されました。

この慰靈祭の起源は、幕末に吉敷毛利家が四境戦争で亡くなつた吉敷地域出身の戦没者を慰靈した招魂祭に始まり、約150年間、地域の人々に手によつて絶やすことなく続けられてきました。

また、こうした慰靈行事を通じて、戦争を体験しない新しい世代が、平和の尊さを認識し、平和への誓いを新たにする大切な日ともなっています。

慰靈祭では、小倉淑夫遺族会会長の慰靈のことばの後、参列者による献花などが行われました。

地域交流センター定期利用団体のコーラスYU-1の有志による合唱も行われ、時より、目頭に涙をにじませる歌もありました。

平和への思いを搖るざるものにし、次世代へつなげていく大切な機会となりました。



4月22日（日）、「よしき軽井沢通り」が開催されました。

この催しは、人の交流を創出する」とによつて、軽井沢のようなさわやかな風を吹かせていくと、地域の有志が立ち上げ、様々な方の協力を得ながら、今年で6回目になります。

4月29日（日・祝）、市消防団小郡訓練場で、「鴻南方面隊一日訓練」が実施されました。

この訓練は、毎年、吉敷・大歳・平川の鴻南3地域合同で行われ、吉敷分団では、団員全員で参加するようにしています。



5月20日（日）、「子ども会東鳳凰ふれあいウォーク」が開催されました。

子ども会と一般参加の総勢約150名が、東鳳凰山の頂（734・2m）に挑戦しました。赤田神社から頂上までの片道8kmという険しい道のりでしたが、確かな足取りで山頂まで登りました。



第6回となる今回は、過去最多となる来場者数で、通りには行例ができる大盛況ぶり。今年新発売の「よしき軽井沢弁当」はすぐに完売していました。

主催の方々は満足顔で、来年も充実した企画を考えていきたいと言わっていました。楽しみですね！

帰りも登山道の春の自然を感じながら、無事赤田神社まで到着し、総距離約16kmを制覇という大きな達成感が得られた初夏のイベントとなりました。

いざという時のため、頼りになる地元のヒーローは、日々、万全の備えを整え、技術の向上に努めています。

ふるさとだより よしき NO.747 (2018年6月)

1 金	
2 土	・地区グラウンドゴルフ大会 8:30~
3 日	
4 月	・あいさつの日 ・ブックスタート体験会 10:00~ P.6
5 火	・「吉敷さんぽ」を片手に歴史を学ぼう 10:00~11:30 飯
6 水	
7 木	・町内会長会 18:30~
8 金	
9 土	・YOSHIKIわくわくファームらんど 10:00~ ・レノファ山口 vs 岡山 19:00~(総合会場)
10 日	
11 月	
12 火	
13 水	・広報委員会 17:00~
14 木	・ひよっこくらぶ 10:00~12:00
15 金	
16 土	・父の日プレゼントづくり 10:00~12:00 P.6
17 日	
18 月	・吉敷ペタンク同好会練習 8:30~

19 火	
20 水	
21 木	・ふれあい給食
22 金	
23 土	
24 日	
25 月	・楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00~15:00 飯
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	・小児救急講座 10:00~ P.6 飯
30 土	

## 7月のおもなイベント

- 1 日 市消防団消防機法大会 10:00~
- 11 水 母子相談 13:00~14:30(受付時間)
- 19 木 ふれあい給食
- 22 日 吉敷お気球スポーツ講座 9:00~
- 27 月 親子健康クッキング 10:00~

広報委員  
津森均

早朝の交差点にて

下校時にも「こん」「ちは」の声がかかり、「こん」「ちは」「おかえり」と応えます。日頃、子どもたちと接する機会が少ない高齢の私にとって、いざつを交わした日は、晴れ晴れとさわやかな気持ちになります。

児童には、いじめや争いなどのない、楽しい学校生活であつてほしいです。上下校時にトラブルに巻き込まれたりすることのないよう、道端から見守り続けたいと思います。

「あいさつでさわやかな一日を」



## [発行・編集]

吉敷地区広報委員会(T753-0816 山口市吉敷佐畠一丁目4番1号)  
☎083-922-3915 吉敷地区交流センター(地域担当)  
☎083-922-0668 吉敷地区交流センター(行政窓口担当)  
☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト  
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

